



仏教の聖地③

初転法輪の地：サルナート（筆者撮影）

悟りを開かれた釈尊が、初めて他者に教えを説き示された（これを「初転法輪」といいます）地は、インド・ウッタラプラデーシュ州にあるヒンズー教の聖地ベナレスから約十キロ郊外のサルナート（鹿野苑）です。

かつて修行を共にしていた五人の仲間と再会した釈尊は、彼らに悟りの内容を説き、五人は釈尊のはじめての弟子となりました。ここに、仏・法・僧の三宝が成立し、仏教が誕生することとなります。

この地には、生誕の地ルンビニーでも紹介したアショーカ王による柱が建てられており、柱の頂上に置かれていた四頭背合わせの獅子（写真左上）は、現在インドの全ての紙幣に印刷されています。

聖地として整備されている広大な土地には、たくさんのお僧院跡や奉獻塔、折れたままのアショーカ王柱があり、六世紀頃に造られた大塔ダーメク・ストウーパーが堂々と立っています（写真右）。

またこの地には、インド大菩提会により昭和六年に建立された初転法輪寺（ムラガンダクティー・ビハラ）があり、日本人をはじめ多くの仏徒巡礼者が参拝しています。寺院に入ると全長約四十四メートル、高さ約四メートルの大壁画が目に見え込んできます。壁画は、釈尊八十年の生涯を題材とした仏伝図です。

この壁画を描いたのは、香川県出身で東京美術学校（現東京芸大）で下村観山に師事した日本画家野生司香雪です。大正時代にインドに渡りアジャンタ石窟寺院の壁画を模写した経験もある彼の手により、五年の歳月をかけて昭和十七年に完成しました。菩提樹の下で悟りへと向かう直前の釈尊に乳粥を捧げるスジャータの姿も描かれています（写真左下）。

題字：小山実千代（伯東寺坊守） 解説：中川正法（西蓮寺住職）

第二十四回 仏教壮年熊本大会に参加して

明福寺門推 八尋正喜 (釋正蓮)

二〇二二(令和四)年十月三十日、開催された第二十四回 仏教壮年熊本大会に参加しました。

六年前の熊本地震、二年前の熊本豪雨による延期を乗り越え、九州・沖縄各地から千四十八名の仏教壮年の朋友が「熊本城ホール」に集結しました。

福岡教区から百三十二名、御笠組からは十六名の参加がありました。

「つながり」々ともに聞きまことのよろこびを伝えよう々の大会スローガンのもと、陣内巧実行委員長から地震、豪雨災害に対し全国から寄せられた支援や励ましに対するお礼と大会が苦難を乗り越え

開催できることへの感謝が述べられました。

記念法話は、球磨組明導寺の藤岡教頭住職が「み教えに出遇えた喜びを行動へ」復興支援活動から見えてきたもの」と題し、被災地では「頑張ろう・頑張つて」はとてつらい言葉だった。ただ「大丈夫だよ・心配ないよ」と言つて欲しかったと被災者の声を届けられました。それは決して頑張れとは言われ

ない阿弥陀さまの「心配するな。大丈夫われにまかせよ」との呼び声を彷彿させるものであった。そしてこの阿弥陀さまのはたらきかけに「南無阿弥陀仏」とお念仏申す喜びを伝え続

けて下さいと結ばれました。

記念講演は、大阪大学大学院の稲葉圭信教授が「宗教と利他主義」災害時にも、ともに生きる」と題し、我々は災害を通じ社会との結びつきの大切さを学び重要性を感じてはいるが、日々の暮らしでは互助・共生の意識は薄れ無縁

社会化している。そのようなか中で被災者の心のケアや被災地における避難場所としての施設提供など災害時における宗教への期待が増していることを力説されました。

会場をあとにしました。

コロナ感染者が減らぬなか参加させて頂いた本大会は、私にとって災害時における仏教徒としての関わり方を学ぶ貴重な場となりました。

次回の九州大会は、令和七年に鹿児島教区で開催される予定です。




はせがわ
つなぎます。心と、いのちと、人。

霊園・墓所・墓石のご相談も承ります。

太宰府インター店 太宰府インター
グツディそば ☎092-503-0800



ルンビニープラザ
お仏壇のつが

太宰府店 (駐車場完備)

太宰府市青葉台3丁目27-4 ☎(092)923-8080

御笠組巡番報恩講法要

西正寺住職

山内真隆 (釋真隆)



去る10月22日・23日両日、西正寺において「御笠組巡番報恩講法要(大法要)」を勤修いたしました。コロナ禍で2年の延期を経て、西正寺では20年ぶりの大法

しい歌声に包まれて献花・献灯にはじまり、18か寺の僧侶によるお勤め、ご講師の法話をいただきました。夜の座では、ご門徒(広松幹久さん)の創作された竹

要でした。多くの僧侶・ご門徒のおかげで、盛大かつ厳粛にお勤めできました。ご報告ならび御礼申し上げます。

一日目のお昼座は、西正寺コーラスグループ(コーロ・ぼだい樹)によるやさしい歌声に包まれて誘われて『お正信偈』のお勤め・法話を喜ばせていただきました。二日目は晴天にも恵まれて、稚児宿(關敏治さん宅)でのお勤め・稚児行列が華々しく勤まりました。

総代(堀川忠宏さん)のご挨拶にもありましたように、組内18か寺が手と手を取り合って法要をお勤めすることは、人と人とのご縁の中で生かされている身であることを再確認するとともに、ご縁ある人々のはかり知れない無量(「アマミダ」)のエネルギーもただけです。今後も御笠組巡番報恩講がお念仏相続のご縁となり、自他共に心豊かに生きることのできる日々が実現されますよう共に実践していきましょう。



お仏壇のよーかどう

お仏壇・仏具のご相談はお電話を！

筑紫野市二日市中央通商店街

☎092-924-1111

ビハーラ・ライン・福岡

こころの電話

ひかりで
悩まなくて
話してみませんか？

相談電話 **092711-1432**

毎週月曜日・金曜日 ※祝日は除く
午後1:00～午後4:30
プライベートは守ります
(相談内容)

浄土真宗本願寺派社会福祉推進協議会福岡支部

法律相談

初回相談無料

毎週月曜日～金曜日
午前八時半～午後六時

※弁護士が相談に応じます

相談専用電話

092761-0334

◎プライベートは必ず守られます。
問い合わせ 福岡教区教務所
☎(092) 771-9081

子ども食堂たべりばへ食品寄贈

教円寺住職

花園

正智(釋正智)



御笠組青少年育成部では活動の一環として、若手僧侶の有志でフードバンク・ホームレス支援・子ども食堂への支援を行っております。

以前「貧困の克服」についての組内の研修会で、貧困とは、経済的な貧困だけではなく、なかなか見えにくいのです

が、孤食などの人とのつながりのなさからくる、心の貧困がありますという話を思い出しました。

孤食とは、一人きりの食事・バラバラの時間に食事をとる事・孤独を感じるような寂しい食事を言うのだそうです。

私には、現在5歳と2歳の息子がいますが、法

務などで、家族との食事の時間より遅く食べる事が続いた時は、子どもの食べる量が減っていたと家族から聞いたことがあります。

一人で食べる時は家族で食べる時より孤独感を感じた事がありました。

小さい子供は、なおさら言葉に表わせない孤独を

感じているのかと思います。

コロナ禍になり、「太宰府子ども食堂たべりば」では、本来の目的である子供の居場所づくりができず、食材物資を配布する事が中心になっている状況です。

この状況の中でも、子ども食堂のスタッフの方々は子ども食堂再開へ向け検討され、できる形で子どもたちへ手を差し伸べられています。

私自身、支援物資を取りまとめる場所へ持ち参り、簡単な仕分けしかできていない状況ですが、微力ながら、一人でも孤食が減る活動の手助けになればと思います。



御墓石・記念碑・造園・石材加工・その他石工事
設計・施工
石のことなら気軽に御相談下さい。

(有)矢ヶ部石材

代表取締役 矢ヶ部 清隆

筑紫野市大字本道寺106-4 ☎ 924-5574
(FAX) 924-8212

草苑 [SOUEN]

美しが丘 TEL 092-919-0880 FAX 092-919-0881
草苑 筑紫野市美しが丘北3丁目12-4

本願寺参拝記念カード

願成寺前住職

中川

清昭(釋清昭)

今、「御朱印集め」が静かなブームだそうです。御朱印とは、お寺や神社を参拝した「参拝証明」として提供されるものです。いわば、「仏神とのご縁の記録」です。それは、寺社によって異なりますが、「印章」と「名称、参拝日、御安置されている仏様・神様の名前などを墨書きしたもので構成されているのが一般的です。

もアートたる所以。印章も押し方の強弱で濃淡が微妙に変わるため、ひとつとして同じ御朱印は存在しないといっても過言ではないのです。

最近では、時期や季節を限定したりと趣向を凝らした御朱印を提供している寺社もあるそうです。御朱印集めを通して、寺社に参拝し、その歴史を学んだり、建築の美しさを改めて感じられるかもしれません。

お寺を多数回ったというように達成感だけに浸ってしまいうのではなく、私たちが

ただ、浄土真宗の東西本願寺では、御朱印はありません。何故でしょうか。

一度お参りしたから大丈夫とか、教えはこの前に聞いたからもう聞かなくてもいい、となってしまうと浄土真宗の門徒の態度とはいえません。様々な問題が次々と起こってくる

社会の中で生きています。そのとき私たちは何を本当の依(より)りどころとして生きていくかを問わねばなりません。

(今本願寺では、季節ごとの参拝記念カードが作られご希望の参拝者に配布されています。)

つは、そのアート性にあるそうです。印章の朱色と墨の黒色が織り成すコントラストが美しいのはもちろん、同じ寺社でも御朱印を書いてくださる人によって違いが見られるの

を集めることだけが目的

なく、私



JA筑紫 誠心誠意を大切にします。もしものとき... 24時間承っております

筑紫農業協同組合 (JA筑紫 共栄会 やすらぎ会館)

〒818-0057 福岡県筑紫野市三日市南2-1-3
TEL(092)924-3027/FAX(092)928-1394

組員・NEWにじの会 会員募集!!

～大切な人を送る時、私たちができること～

ご葬儀を真心込めてお手伝いします

有限会社 **筑紫葬祭**

葬儀式場 **セシモニー筑紫**

CHIKUSHI

本社/セシモニー筑紫
〒818-0059 福岡県筑紫野市塔原東4丁目3-5
TEL 092-925-4444
FAX 092-925-4949

本願力に
あひぬれば
…… 19

「**恩**」
おん
拝まない時も拝まれていた

栄法寺門推 鳥飼 澄子 (釋実智)

二年ぐらい前のことだったと思いますが、鹿児島教区「心のともしび」カレンダーに何月かは忘れましたが、「恩」という言葉が書かれていました。その時初めて「恩」という言葉を目にし、何故だか解りませんが心に深く残っておりまして。

今から三十年ほど前、両親との別れという縁があったて、栄法寺に伺ううちに、ご住職から阿弥陀如来の本願のおはたらきや、中でもその根本となる十八願は、阿弥陀如来が私たちを救くわんとして、常に見守り続けて下さっているとお話していただきました。以前、自分自身が恵みを受けていることに気づくことを「知恩」と教えていただいたことがありまし

たが、「恩」という言葉に出会ったのは初めてで、しかも恩という言葉は仏教用語ではなく造語と知り、親しみやすく私にとつては大切な言葉となりました。両親との別れというものは限らない悲しみでしたが、その事柄がなければ阿弥陀如来の本願に出会う事もなく、いつまでも悲しみと落胆の日々の暮らしの中で、途方に暮れていたことでしょう。

またそんな私の前に「たとえあなたが如来の救いに背を向けようとしても、撰め取って決して捨てはしない」という如来のお心を教えて下さった親鸞聖人の言葉に出会うこともなかったこと

と思います。さらに阿弥陀如来は「すべての者を救う」と

誓われ、真の歩むべき道も解らず、迷いに満ちた生活を送る私たちを「名号にて救う」と見守り続けられている。しかもこの見守りは命をおえた時に救われるのではなく、迷いの世界に暮らす「今の私たち」にはたらきかけているとのことです。この阿弥陀如来をはじめ親鸞聖人のお心に出会わなければ、両親との別れから数十年余過ぎた今でも、どうなっていたらう

と思うと、感謝の念しか思い浮かびません。

昔幼稚園の頃、何の意味も分からずに「恩徳讃」を毎日歌っていましたが、最近になってこのことが「恩」なのだと感じるようになりました。

何をご縁としたものか、こ

の世に生を受け、育まれてきたよりどころを深く恩ぶ。ともすれば世の生業に明け暮れ、拝まない時も拝まれていた。このご恩を私なりに心に刻み、生ある限り精一杯生きたいこうと思います。

「恩」拝まない時も拝ま

合掌

御笠組ホームページ
<http://www.mikasaso.com/>

各宗寺院御用達、仏壇製造販売、墓石設計・施工・販売

お仏壇のまつお

有限会社 松尾仏具本店

瀬高本店 TEL.0120-62-3721	久留米店 TEL.0120-46-5754
FAX.0944-62-5900	お仏壇工房まつお TEL.0944-62-3721
大牟田草木店 TEL.0944-57-7141	墓石展示場 TEL.0944-62-3721
春日店 TEL.0120-82-5620	http://www.matsuobutsudan.com

大規模葬から家族葬まで…
もしもの時に安心な…互助会会員募集中

(株)のがみ **善光会館** 筑紫会場

筑紫野市杉塚6丁目11-1 Tel 921-4242(代)